

学校だより

# 潮風

令和3年度  
第9号  
令和3年  
11月30日

教育目標 「伸びる喜びを見つけよう」

学ぶよろこび (知) 助け合うよろこび (徳) やりぬくよろこび (体)



岩内町立岩内西小学校 TEL 62-0263

<http://www.town.iwanai.hokkaido.jp/nishisyo/>

## 令和の学びのスタンダード



岩内西小学校長 佐古岡 香

色鮮やかだった中庭の木々の葉がすっかり落ち、あっという間に冬景色となりました。休み時間に外で雪遊びをしたい子どもがたくさんおりますが、根雪になるまで我慢してもらっています。冬の遊びを楽しみに待っていてほしいと思います。

さて、世の中ではデジタル化が急速に進んでおりますが、学校教育も例外ではありません。

文部科学省によるGIGAスクール構想の実現に向け、全国の自治体で1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークの整備が進んでいます。本校においても、昨年度は4～6年生に、今年度は2学期に入ってから1～3年生にタブレットが導入され、「1人1台端末」の環境が整いました。

先日は、1年生が初めてタブレットを使用し、使う時の約束や起動・パスワードの入力について学びました。新たな学びのツールに子どもたちは目を輝かせ、興味関心をもって操作して



机の上にタブレット

いました。  
低学年は操作方法を身に付ける段階ですが、3年生以上は、次のような学習に用いています。

- デジタル教科書による教科授業
  - 検索サイトを活用した調べ学習
  - 文章作成ソフト、プレゼンソフトを利用した発表 等
- 以前のように、コンピューター室で1台のデスクトップパソコンを数人で使用していた時とは違い、「すぐに」「どの教科でも」「誰でも」「持ち運んで」使用できるよさがあり、日々積極的に活用



1年生も使ってます

用しています。

学校では今後もデジタル機器を用いた学習活動を充実させていきますが、これまでの「紙・アナログ」のよさを否定するものではありません。「書くこと」は、じっくり考える場面でも大切な学習活動です。これまで同様、ノートに書くことを通して学びを蓄積し、自分の学びの振り返りに使っていくことに変わりありません。デジタルとアナログの利点を生かして、それぞれ使い分けていくのが令和の学びのスタンダードと言えるでしょう。



修学旅行のまとめ発表

今後、タブレット端末については、学校での使用にとどまらず、家庭と学校の双方向での使用について準備を進めます。操作方法の他にも、情報モラル教育の一層の充実も図らなくてはなりません。私たち大人もともに学んでいく令和の学びと言えそうです。